



連合愛知安全衛生センターだより

愛知県労働者安全衛生研究センター 〒456-0002 名古屋市熱田区金山町1丁目4-18 ワークライフプラザあろ 3F
TEL(052)684-0003 FAX(052)684-0303 連合愛知ホームページからも閲覧できます <https://anzen0003.rengo-aichi.or.jp/>

第5回理事会を開催

連合愛知安全衛生センター「第5回理事会」を9月26日、開催しました。冒頭、谷口理事長の挨拶の後、来年度の活動内容について議論がなされました。

また、役員の変更、2025年度期末会計決算などについて、確認がされました。



◇主な議題

- ① 2026～2027年度活動計画について
- ② 理事の変更について
- ③ 2025年度会計決算報告・会計監査報告

◇役員の変更

構成組織	新理事	旧理事
情報労連	南 建	谷原伸哉
基幹労連	松田剛	竹畠安広
自動車総連	鈴木浩久	白谷拓也
UAゼンセン	新野大	八道徹

◇安全衛生センター第37回総会

開場

名古屋市中小企業振興会館（吹上ホール）

時間

11:00～12:00 安全衛生センター第37回総会

14:00～16:30 過労死等防止推進シンポジウム

※総会出席者の皆様

過労死等防止対策推進シンポジウムへの
参加申込を忘れずにお願いします。

過労死等防止対策

推進シンポジウム参加申込



全国労働衛生週間にむけて ～第2回安全衛生担当者研修会を開催～

理事会開催の後、「第2回安全衛生担当者研修会」を各構成組織・加盟組合、安全衛生センター理事、講義傍聴者を含め74名の参加により、同会場にて開催しました。

今年度は神奈川県立保健福祉大学大学院教授、津野香奈美先生より、『パワハラはなぜなくならないのか?』と題してパワハラの中身が時代と共に変化する背景や行為者の心理について学び、誰もが行為者になり得るメカニズムについて講義をいただきました。



講義後のグループワークでは、職場でのハラスメント防止策及び取り組み、組合の相談窓口の有無・相談の対応について意見交換が行われ、近年、精神障害による労災申請件数が増加している現状を共有し、組合としてパワハラの無い、職場環境を構築していくことを確認しました。



近年、働き過ぎやハラスメント等の労働問題によって多くの方の尊い命が失われ、また心身の健康が損なわれる深刻な社会問題となっています。

本シンポジウムでは有識者や過労死で亡くなられた方のご遺族等にもご登壇いただき、過労死等の現状や課題、防止対策について考えます。

愛知会場



毎年11月は「過労死等防止啓発月間」です。

過労死等防止対策 推進シンポジウム



過労死をゼロにし、健康で充実して
働き続けることのできる社会へ

参加無料

事前申込

日時 2025年11月14日(金)
14:00～16:30(受付13:30～)

会場 名古屋市中小企業振興会館
7F メインホール
(名古屋市熱田区金山町1丁目4番3号)

主催: 厚生労働省
後援: 愛知県、名古屋市、愛知県労働者会
協力: 過労死等防止対策推進センター、生正通労を愛する家族の会、過労死対策全国連絡会

チケット申込URL: <https://anzen0003.rengo-aichi.or.jp/>

QRコード

新任役員紹介

鵜生理事（東邦ガス組合 労働対策・広報担当）

■ 「人」を基盤にいきいきと働くための快適な職場づくり

東邦ガスグループは、東海地方を生活・産業基盤とし、ガス、電力、熱供給など、社会を支える幅広い総合エネルギー事業を展開しています。

地域社会の暮らしと産業の安定に貢献するため、活動の根幹には常に「人」の存在があります。

この認識のもと、当社グループは「働く人の安全と健康の確保」を企業活動の基盤と位置づけています。

この理念に基づき、労働災害、交通災害、および疾病の防止に努め、社員一丸となって安全と健康の確保、そして快適な作業環境の形成に取り組んでいます。



鵜生理事

今回は、労働組合が会社と共に「職場環境維持・改善活動」についてご紹介します。

本活動の目的は、組合員の安全と健康を確保し、「いきいきと働くための基盤を築くこと」にあります。労働安全衛生法令に基づき、安全で衛生的な職場環境の維持・改善を目指し、組合員からの意見・要望を基に会社と協議を行い、計画的に快適な職場づくりを推進しています。

職場環境の現状を正確に把握し、具体的な改善を図ることで、組合員の能力が最大限に発揮できる職場環境の形成を推進します。

【第84回全国産業安全衛生大会に参加して】

情報労連 NDS労働組合 南 理事



本大会は総合集会と分科会で構成され、私は数ある分科会の中から「メンタルヘルス・健康づくり・健康経営分科会」を聴講しました。

本分科会では、「エイジフレンドリーに向けた体力測定と事後フォロー」や「音楽を聴きながら作業できる仕組みづくり」など、健康経営に特化した内容が取り上げられ、社会的にも注目を集めているテーマであったことから、本分科会を選択しました。

なかでも「職場における睡眠管理の導入」に関する講演では、科学的根拠に基づく生活リズムの調整・定着に重点が置かれ、仮眠スペースの確保など、環境面からの改善にも積極的に取り組まれていました。

「睡眠」に焦点を当てた事例を知るのは初めてでしたが、夜間・深夜勤務と日中勤務が不規則かつ不定期に行われる業種では、睡眠の質の向上やコントロールが労働者の健康管理に直結することを改めて実感しました。

また、同時開催の「緑十字展」では、熱中症対策をテーマとした展示が多く見られ、今夏のような異常な暑さから労働者を守るためにも、ハード面での対策の重要性を再認識しました。

今回の学びを通じ、今後の活動に活かせる具体的な行動計画へとつなげることができ、有意義な機会となりました。

愛知労働局管内死亡災害発生状況（令和7年10月3日 現在の速報値）

※（ ）内は交通事故による死者数で内数である。

業種	年別	令和7年速報値	令和6年同時期(速報値)	令和6年確定値
製造業	6	5 (1)	8 (1)	
食料品製造業			1	
化学生工業	1			
鉄鋼・非鉄金属	2			
金属製品		1	1	
一般・電気・輸送用	2	2 (1)	3 (1)	
その他の	1	2	3	
建設業	2	6 (1)	9 (2)	
土木工事業	1		2 (1)	
建築工事業		3	3	
その他の	1	3 (1)	4 (1)	
陸上貨物運送事業	4 (3)	1	3 (1)	
商業	1 (1)	6 (5)	9 (6)	
卸売業			1	
小売業	1 (1)	5 (4)	7 (5)	
その他の		1 (1)	1 (1)	
清掃・と畜業	1	1	2	
上記以外の事業	2 (1)	2 (1)	3 (1)	
合計	16 (5)	21 (8)	34 (11)	